

2012年(平成24年)3月14日(水曜日)

日本リ・ファッション協会(中野区)は、着なくなった服を新しく作りかえて出来栄を競う「リ・ファッションコンテスト」の作品エントリを二十一日まで受け付けている。エコとオシャレを組み合わせたユニークなコンテストだ。

「大量生産、大量消費、大量廃棄の生活スタイルを見直すきっかけに」と二年前に始めた。今年も「自由発想」「テーマ(自然と人)」「手ワザ」の三部門で募集する。過去にワイシャツをサマードレスに仕立て直したり、着物をフラガール風衣装に作り替えたりした作品が出品されてきた。

協会は、大量生産の商品で活躍の場が少なくなる縫製職

仕立て直して魅力的に

人と、服の直し方を知りたい消費者を結ぶことなどで「良いものを長く使う文化を育てたい」と二〇〇九年に設立された。東日本大震災があらためて生活を見直す契機になったという。

代表理事の鈴木純子さん(四六)は「自分なりの創意でお金をかけなくても心の豊かさを手に入れることはできま

リ・ファッション協会 コンテスト作品募集

「す」と呼び掛ける。一次審査通過作品を六月一日からインターネットのウェブに載せ、同二十一日二十五日(新宿区新宿二)で展示して公開投票を行う。七月にグランプリなどを発表する。秋に入賞作品のファッションショーも予定する。詳しくは協会ホームページで。(鈴木学)



シャツやワンピースなどをダウンジャケットなどに様変わりさせた過去の入賞作品